

中部地区マンドリンコンサートガイドの発行について

Contemporary Mandolin Unit STEPS

はじめに

2008年の活動開始から積極的に活動を続ける STEPS は、2010年より、中部地区に無料で配布する「コンサートガイド」の制作をしております。従来制作をしておりました東海学生マンドリン連盟と協力し、社会人の業界団体である JMU 中部支部様からもご支援いただき、業界における重要なメディアである本紙を責任もって発行いたします。A 面はコンサートガイドとして、B 面は読み物としても業界内外の方々に広く手に取っていただけるよう趣向を凝らして制作して参ります。皆様方におかれましては、コンサートガイドとしての広告的側面のみならず、これら情報発信の出版活動にご理解とご賛同いただき、ご協賛金を賜りたくお願い申し上げます。

A 面

B 面

概要

A	E	I	M
B	F	J	N
C	G	K	O
D	H	L	P

4 コ マ 漫 画	対談記事	
	特別枠 ムジークゾリステン	発行元

発行：年2回（春夏号・秋冬号）各：1万部 白黒 白ツヤ紙

配布方法：ご協賛団体様へ500部ずつ配布・WebでPDFをダウンロード 他

内容

A 面情報

- ・コンサート情報スペース A～P

(縦:70mm 横:50mm)

社会人団体協賛金 4,000円

学生団体協賛金 3,000円

B 面情報

- ・対談記事 テーマ「マンドリン～その未来について」

坂野嘉彦（作曲家）

番場建志（記録・ファシリテーション）

2名ゲスト

オーディエンス

STEPS から坂野嘉彦と、記録のために番場が参加。公開対談会を設定し、オーディエンスからの質問も受け付ける。テーマに基づいた議論を展開し、次回へ議論の内容を引継ぐ、各個人の主張の場でおわらないように業界に対して生産的な意見交換の場となることを目指す。

- ・4コマ漫画 画：瀧玲子 代表作：日本の歴史シリーズ（ポプラ社）など
- ・特別枠 ムジークゾリステン広告・中部地区学生マンドリンクラブの現状調査の提供
- ・発行元 Contemporary Mandolin Unit STEPS 事務局 発行責任者：番場建志

STEPS

2008年12月に活動開始。作曲家：坂野嘉彦を中心に制作し、Mandolin×Contemporaryの提案と普及を目的として活動する。音楽のみならず活動そのものがコンテンポラリーである。Live動画をYOUTUBEで公開（延べ1万回再生）メンバー全員でのブログ定期更新（1万アクセス突破）マンドリンワークショップの開催など既存の枠にとられない活動が人気である。6月に発表したCD「Sense of STEPS」はSTEPSらしさを感じることでできる仕上がりとなった。（Web通販・ミュージックゾリステン・フレット楽器オザキ・弦楽器のイグチなどで取り扱い）

坂野嘉彦・中村直哉・山本優子・野尻敦子・山下直美・中島裕善・番場建志の7名で活動する

坂野嘉彦

1965年生まれ。作曲家として活躍する中、自作を中心にクラリネット・鍵盤ハーモニカ奏者しても活動。学生時代にマンドリンオーケストラを指揮するなど業界在籍経験はあるが、本格的に音楽活動を開始した後、一時マンドリン業界から遠ざかる。近年 STEPS での活動をきっかけに再びマンドリン、及びその楽器の未来に興味を持つ。

代表されるマンドリン楽曲

- ・『Virginal for Orchestra』（鹿児島大学25周年記念委嘱作品）
- ・『RS No6』（武蔵工業大学マンドリンクラブ 委嘱作品）
- ・『二つのメソッド』（愛知学院大学マンドリンクラブ 委嘱作品）

その他実績

- ・楽劇『流れ果つることなし』（愛知県文化振興事業団委嘱）
- ・音楽を担当した劇団夏蝶公演『マンザナ、わが町』で名古屋市民芸術大賞受賞
- ・「Water Scape」等を美術家野村幸弘氏と共同制作。
- ・「回転の音楽」（東京大学フィレンツェ研修センター委嘱）
- ・文化庁「本物の舞台芸術鑑賞会」において馬頭琴奏者張照翔氏の委嘱により馬頭琴協奏曲「ウルグナ（スーホーの白い馬）」、「ラサへ向かうとき」を同氏の独奏とセントラル愛知交響楽団にて初演。

ピアノ曲、歌曲、室内楽等シリアスマュージックの他にも、ミュージカル等の舞台作品、テレビドラマの音楽、CD等のアレンジ、コンピュータ音楽を手がける。

番場建志

1980年生まれ。愛知学院大学マンドリンクラブ第39代部長。同時期東海学生マンドリン連盟理事長。他大学のマンドリンクラブが部員減少により活動停止を余儀なくされる中、部長在任中に同クラブ新入部員47名の獲得を果たし、部員総数100名を超える。その頃から成果のあがるマネジメント手法の具体化を模索し始める。退任後在学中に、他大学友人と「B.B.W（現：strings）」を設立。初代団長を務める。その後、「マネジメントの父」と呼ばれる故:P.F.ドラッカー氏の著書「非営利組織の経営」に出会い、同氏を信奉。「自らの役割は何か」「成果の上がないことをしてはいけない」との教えに従い奏者としての活動を辞め、団長辞任、stringsを退団。「この業界に欠けるものはマネジメントである」と仮説。STEPSではマネジメント専任メンバーとして参加。